

環境活動レポート

2018 年度

(活動期間 2018 年 8 月～2019 年 7 月)

2019 年 8 月 31 日作成



スズキメタル株式会社

目次

1. 環境経営方針.....	2
2. 組織の概要.....	3
3. エコアクション21認証・登録対象範囲.....	3
4. 許認可等の状況.....	4
5. 事業の規模(7月決算).....	5
6. 環境組織図.....	6
7. 施設等の状況.....	6
8. 金属加工、処理等のフロー.....	7
9. 受託した廃棄物の収集運搬及び処理量.....	7
10. 鉄スクラップ買取及び廃棄物処理料金.....	7
11. 環境への負荷の状況.....	8
12. 環境目標(3カ年及び年度計画).....	9
13. 環境活動実績(2018年度).....	10
14. 主な環境活動内容と取組結果の評価.....	14
15. 次年度の主な環境活動内容.....	15
16. 環境コミュニケーション.....	16
17. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無.....	18
18. 代表者による見直し(2018年8月31日実施).....	18

別表 許可リスト



1. 環境経営方針

スズキメタル株式会社

環境経営方針

当社は、金属スクラップリサイクル事業を通じて、持続可能な社会を目指し、地球環境保全活動へ取り組みます。

環境関連法令の遵守体制を整え、廃棄物の適正処理や汚染の予防に努めます。また、地球温暖化防止や資源の有効活用を図るため、以下の環境活動に取り組み、継続的改善に努めます。

- (1) 鉄スクラップの加工・分別を強化し、リサイクル率の高水準維持に努めます。
- (2) 化石燃料使用効率向上、電気使用効率向上、省エネ教育に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (3) 節水教育により、水の使用量の削減に努めます。
- (4) 管理項目として、化学物質の管理、グリーン購入、近隣地域の清掃・美化活動に努めます。
- (5) 環境教育を通じて全従業員の環境への意識向上を図り、自らが責任を持って環境保全に取り組めるよう努めます。

当社の環境方針は、社内に掲示し、全ての従業員に周知します。

また、環境活動を「環境活動レポート」に記載し公表します。

制定：2008年8月1日
改訂：2019年3月1日
スズキメタル株式会社
代表取締役 鈴木 和江

2. 組織の概要

- (1)創 立年月日:1948年 4月8日(個人商店)
法人設立年月日:1954年 4月8日(有限会社鈴木商店)
組織変更年月日:1997年10月6日(スズキメタル株式会社)

(2)資本金:1,000万円

(3)売上高(7月決算)

2016年度: 884百万円

2017年度: 660百万円

2018年度:1,048百万円

(4)事業所名及び代表者名

事業所名:スズキメタル株式会社

代表者名:代表取締役 鈴木 和江

(5)所在地(本社及び工場)

千葉県旭市三川6601番地

(6)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名:大塚 浩志

担当者氏名及び連絡先:高橋 誠

(電話) 0479-57-3800 (FAX) 0479-57-3802

(Mail) info@suzumeta.co.jp (HP) <http://www.suzumeta.co.jp/>

(7)事業内容

鉄スクラップ業、産業廃棄物収集運搬及び中間処理業、一般廃棄物処理業、
使用済み自動車破碎及び解体業、フロン回収業

3. エコアクション21認証・登録対象範囲

(認証・登録日2009年7月28日)

全事業所及び全事業活動にて、エコアクション21活動を実施

(1)対象事業所

本社・工場 千葉県旭市三川6601番地

(2)対象事業活動

鉄スクラップ業、産業廃棄物収集運搬及び中間処理業、一般廃棄物処理業、
使用済み自動車破碎及び解体業、フロン回収業

4. 許認可等の状況

(1) 産業廃棄物中間処理業

許可行政	千葉県	
許可番号	第1220048363号	
事業の範囲	切断及び圧縮による中間処理	
新規許可年月日	平成 9年7月22日	
許可期限	令和 4年7月21日	
処理 品目	切断	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	圧縮	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

処理能力・保管施設(千葉県旭市三川字善光 6601 番、7398 番 4)

施設の種類	処理能力	
切断施設	廃プラスチック類 (36トン/日) 金属くず (384トン/日) 混合物 (144トン/日)	
圧縮施設	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コン クリートくず及び陶磁器くず(48トン/日)	
	保管面積	保管上限
切断材料保管施設	270.00m ²	897.85m ³
切断後物保管施設	321.00m ²	1,287.00m ³
圧縮前産業廃棄物保管施設	6.00m ²	7.80m ³
圧縮後産業廃棄物保管施設	20.15m ²	60.45m ³
ガス切断材料保管施設	124.10m ²	166.44m ³
残渣物保管施設	20.50m ²	23.58m ³
残渣物保管施設	10.20m ²	12.20m ³

(2) 産業廃棄物収集運搬業

別表 許可リスト(19ページ)参照

(3) 一般廃棄物処理施設許可

千葉県 許可番号 第13-8

許可年月日:平成13年7月23日

施設の種類:切断処理施設

廃棄物の種類:鉄くず

処理能力:144トン/日(18トン/時×8時間)

(4) 使用済み自動車関係(千葉県)

	解体業許可	破砕業許可	フロン類回収業登録
番号	20123001296	20124001296	20122001296
許可年月日	平成 21 年 7 月 1 日	平成 21 年 7 月 1 日	平成 25 年 4 月 30 日
許可期限	令和 6 年 6 月 30 日	令和 6 年 6 月 30 日	令和 5 年 4 月 29 日

(5) フロン類回収業者登録

	千葉県(第1種)	茨城県(第1種)
登録番号	12A001281	11783
許可年月日	平成 30 年 4 月 30 日	平成 30 年 3 月 4 日
許可期限	令和 5 年 4 月 29 日	令和 5 年 3 月 3 日

(6)古物商

千葉県公安委員会 第 441170000266 号
 交付日、昭和55年3月1日

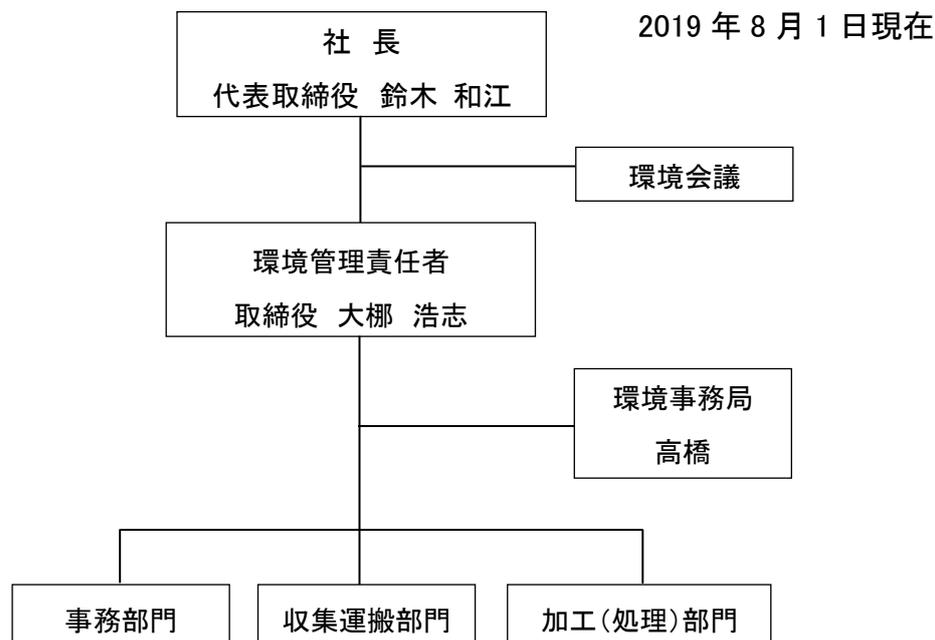
(7)金属くず取扱業

千葉県公安委員会 公 旭 第34号
 交付日、昭和55年2月5日

5. 事業の規模(7月決算)

項目名(単位)	単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度
金属加工品販売量	トン	31,147	31,677	25,186
金属加工品仕入れ量	トン	30,656	31,067	25,137
産業廃棄物収集運搬量	トン	92	104	98
産業廃棄物処理量	トン	65	93	81
一般廃棄物中間処理量	トン	656	633	707
従業員	人	13	12	12
本社・事務所敷地面積	m ²	8,651	8,651	8,651

6. 環境組織図



役割

社長	環境方針の決定 社長による EA21 活動の見直し 必要な経営資源の投入
環境管理責任者	環境経営システムの確立・実施・維持 社長見直し時に EA21 活動状況報告
各部門	EA21 活動及び結果の報告

7. 施設等の状況

保有運搬車両合計台数	15台	保有重機合計台数	10台
18tトラック	1	40トンパワーショベル	1
27tセミトレーラ	2	20トンパワーショベル	2
20tセミトレーラ	1	12トンパワーショベル	1
10tヒアブ	4	5トンパワーショベル	1
15t平ボディー	2	フォークリフト	4
6tアームロールヒアブ	1	スーパー	1
4トンヒアブ	1		
4トン平ボディー	1		
4トンダンプ	1		
2トンリフト車	1		

8. 金属加工、処理等のフロー

＜インプット＞		当社業務		＜アウトプット＞
金属製品仕入	⇒	切断、圧縮、分別作業	⇒	有価物(鉄加工品)
			⇒	リサイクル(金属付着のプラスチック)
産業廃棄物	⇒	中間処理、保管(切断、圧縮処理)	⇒	有価物(鉄加工品)
			⇒	最終処分(残渣物)
使用済み自動車	⇒	切断、圧縮、保管	⇒	有価物(鉄加工品)
フロンガス	⇒	回収、保管	⇒	フロンガス処分業者

9. 受託した廃棄物の収集運搬及び処理量

2018年度実績

項目	数量(トン)
産業廃棄物収集運搬量(8月～7月)	98
産業廃棄物中間処理量(8月～7月)	81

10. 鉄スクラップ買取及び廃棄物処理料金

鉄スクラップ買取、収集運搬、処理料金につきましては、廃棄物の種類・距離・量等によりお見積もりします。又、地域貢献の観点から近隣のお客様からのご依頼につきましても、個別にて対応しますのでお気軽にご連絡下さい。

お問い合わせはこちらへ

0479-57-3800(相談窓口)

メールアドレス: info@suzumeta.co.jp

ホームページ: <http://www.suzumeta.co.jp/index.htm>

1.1. 環境への負荷の状況

		単位	2018年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂ (注)	466,038
化学物質使用量	該当物質使用無し	—	—
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	98
	中間処理量	t	81
	うち再資源化等量	t	43
受託した一般廃棄物の処理量	中間処理量	t	707
廃棄物等総排出量	再生利用	t	54
	リサイクル	t	33
	最終処分量	t	55
総排水量	公共用水域	m ³	1,631
	下水道	m ³	0
水資源投入量	上水	m ³	116
	地下水	m ³	1,515
総エネルギー投入量	購入電力	MJ	4,335,531
	化石燃料	MJ	3,687,809
総物質投入量	循環資源投入量	t	25,186

注・・・平成 27 年度東京電力の二酸化炭素排出係数(調整後排出係数)は 0.491kg-CO₂/kWh



12. 環境目標（3カ年及び年度計画）

（年度は8月～7月）

環境目標項目	責任部門 責任者	基準年度 2016年度 基準値	目標		
			2017年度	2018年度	2019年度
①分別の徹底によるリサイクル率(廃棄物の削減)の高水準を維持する	加工;木村 工場長	99.9%	基準年 (99.9%) 高水準維持	基準年 (99.9%) 高水準維持	基準年 (99.9%) 高水準維持
②二酸化炭素排出量の削減	全社; 大塚取締役	16.524 kg- CO ₂ /t(注)	1%削減 (16.359kg- CO ₂ /t)	2%削減 (16.194kg- CO ₂ /t)	3%削減 (16.028kg- CO ₂ /t)
③運搬車両燃費向上	収集運搬部門; 上代部長 (目標改定)	2017年8 月～2018 年1月 1.399km/L	1%向上 (1.413 km/L)	2%向上 (1.427 km/L)	3%向上 (1.441 km/L)
④水使用量の削減	全社; 大塚取締役 (目標改定)	2017年度 1,361 m ³	—	1%削減 (1,334 m ³)	2%削減 (1,347 m ³)
⑤管理項目;サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	全社; 大塚取締役	—	サイト点検表によるチェック	サイト点検表によるチェック	サイト点検表によるチェック
⑥管理項目;化学物質管理	全社; 大塚取締役	—	適正管理	適正管理	適正管理
⑦管理項目;グリーン購入教育	全社; 大塚取締役	—	グリーン購入推進教育	グリーン購入推進教育	グリーン購入推進教育

注・・・平成27年度東京電力の二酸化炭素排出係数(調整後排出係数)は0.491kg-CO₂/kWh

13. 環境活動実績（2018年度）

2018年度目標（2018年8月～2019年7月）		2018年度結果 （目標対達成率）	評価
①分別の徹底によるリサイクル率（廃棄物の削減）2016年度実績（99.9%）の高水準を維持する。	・リサイクル処理ルート 開拓 ・資源物、廃棄物の分別 徹底	リサイクル率 99.9% （100%）	○
②二酸化炭素排出量の削減 2016年度実績（16.524 kg-CO ₂ /kg）に対し、2018年度までに2%（16.194kg-CO ₂ /kg）削減	・節電表示 ・エコドライブ教育 ・省エネ教育	18.623 kg-CO ₂ /t （85%） （注）	×
③運搬車両燃費向上 2017年度実績（1.478km/L）に対し、2018年度までに1%（1.493km/L）向上	・エコドライブ教育 ・配車効率化	1.603km/L （107%）	○
④水使用量の削減 2017年度実績（1,361 m ³ ）より、2018年度には1%（1,334 m ³ ）の削減	・冷却水の適正使用 ・雨水タンクの活用	1,631 m ³ （78%）	×
⑤管理項目として、サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	サイト点検表の実施	側溝の清掃、不要物の撤去等整理整頓が徹底できた。	○
⑥管理項目として、化学物質管理に取り組む	フロン回収の適正管理	フロン保管について適正に管理した。	○
⑦管理項目として、グリーン購入教育に取り組む	再生紙の使用	再生紙を購入した。	○

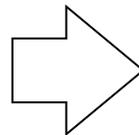
注・・・平成27年度東京電力の二酸化炭素排出係数（調整後排出係数）は0.491kg-CO₂/kWh

【環境活動実績(2018年度)総評】

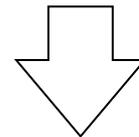
環境目標①分別の徹底によるリサイクル率高水準を維持する

鉄加工会社や解体工事現場等から発生する鉄資源を加工(切断等)し、鉄くず、ミックスメタル、ステンレス、銅、アルミ、真鍮等に細かく分別し、鉄鋼炉会社へ売却しています。サイズの大きな鉄資源も大型切断機(切断シリンダー能力 1,250トン)で切断加工し、リサイクルを推進しています。なお、鉄資源の一部にはプラスチックや木くず等が鉄資源に付着しているため、切断処理やガス溶断により分別を徹底し、リサイクル率の高水準の維持が出来ました。今後も継続して、従業員へ分別教育を徹底し、リサイクル推進に取り組んでいます。

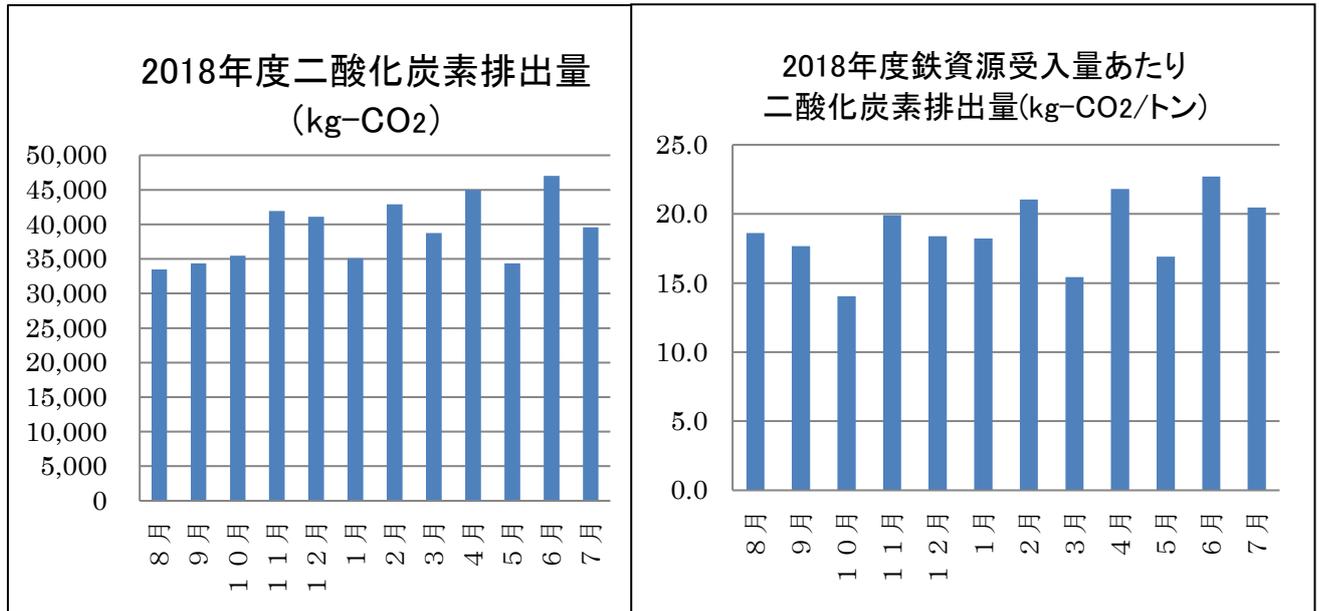
鉄鋼炉会社の受け入れ基準に合わせ
切断処理やガス溶断



再生資源としてよみがえります。



環境目標②二酸化炭素排出量の削減目標



軽油使用量(車両及び重機燃料)が減少し、二酸化炭素排出量削減となっております。なお、鉄資源受入量あたりのkg-CO₂使用量については、鉄資源加工(処理)作業の効率向上やエコドライブ推進に努力しましたが、鉄スクラップ仕入れ量減少に伴い作業効率が悪くなり目標となりませんでした。作業効率向上を目指し、量がまとまった時点でまとめて加工作業を実施しています。

倉庫屋根にて太陽光パネルで発電しており、自然エネルギー発電・売電事業を実施しています。太陽光発電をH26年11月から開始！！



環境目標③燃費向上

走行ルートの見直し、効率的な配車に取り組み、燃費向上となりました。今後も、エコドライブ教育を推進するなど、急発進や急加速の防止等のエコドライブを徹底させ、車両燃費向上に取り組みます。さらに無事故の継続に取り組み、収集運搬時緊急時の定期訓練を実施しています。

環境目標④水使用量の削減

当社では切断機油圧ユニットの冷却のため、クーリングタワーで水を使用しています。水を循環させ再利用していますが、気温の高い日が続くと循環利用が出来ないため、水使用量が増加となっています。切断機の故障防止及び安定稼働のために止むを得ない状況もあります。なお、温度計で水温を確認し、高温時のみ給水を行い、地道な節水活動は継続します。

また、雨水をタンクに貯水し散水用として再利用し、水使用量削減に積極的に取り組んでいきます。



管理項目⑤サイト点検表による場内整備

毎日の作業終了時に作業場の整理整頓、不要品の撤去等に取り組んでいます。定期的に油水分離槽や側溝の清掃に取り組んでいます。また、産業廃棄物保管場所表示や保管容量の確認を徹底しています。

管理項目⑥化学物質適正管理

化学物質の取扱いはありません。なお、フロンについてはフロン回収業者として登録しているため適正に回収し、保管場所に適正保管及び管理しています。

管理項目⑦グリーン購入

グリーン購入教育を実施し、再生紙使用を継続します。

14. 主な環境活動内容と取組結果の評価

環境目標	環境活動内容	取組結果	評価
①分別の徹底によるリサイクル率(廃棄物の削減)の高水準を維持する	リサイクル処理ルートの開拓	鉄資源に付着していた木くずやプラスチックの分別を徹底し、リサイクル先ルートを利用している。	5
	資源物、廃棄物の分別徹底	鉄スクラップ品及び廃棄物の分別品を明確にして、分別を徹底している。	5
②二酸化炭素排出量の削減	処理効率の向上	鉄資源受入量が多い月ほど作業効率が高まるため、量がまとまった時点で加工作業を実施している。	4
	同時運転の回避	受け入れ予定及び鉄資源出荷予定に合わせて、切断機及び圧縮機を稼働させている。	5
	作業技術の向上	処理機運転、重機作業等を従業員へ教育し、作業効率工場に取り組んでいる。	4
	エコドライブ教育	エコドライブが徹底され、省エネ意識が高まっている。	4
	エアコンの適正使用	不使用時のスイッチオフの徹底を行っている。	3
③運搬車両燃費向上	エコドライブ教育	急発進及び急ブレーキをやめエコドライブが推進できた。	5
	配車効率化	走行ルートの見直し、効率的な配車に取り組み、燃費向上となりました。	5
	ヒアブ作業効率化	鉄資源回収先での作業内容を想定し、効率良く車両へ積み込みしている。	3
④水使用量の削減	冷却水の適正使用	夏場の気温が高い日が多く削減できなかった。	3
	雨水タンクの活用	雨水タンクの雨水を散水に活用した。	4
⑤管理項目として、サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	サイト点検表によるチェック	不用品の撤去や側溝の清掃等、サイト点検表により週に1回チェックし、整理整頓を徹底している。	5
	油水分離槽の清掃	週に1回チェックし、水面の油膜の有無を確認している。	5
	不要物の撤去	整理整頓に徹底できている。	4
⑥管理項目として、化学物質管理に取り組む	フロン回収後の適正保管	フロンを適正保管している。	4
⑦管理項目として、グリーン購入教育に取り組む	再生紙の利用	再生紙を購入している。	4

(評価点) 5点:90%以上 4点:70%以上 3点:50%以上 2点:30%以上 1点:30%未満

(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する)

【総評】 評価点が4点以上の項目が9割となり、環境への取り組みが推進されている。

15. 次年度の主な環境活動内容

環境目標項目	責任部門 責任者	基準年度 基準値	2019 年度 目 標	取組
①分別の徹底によるリサイクル率(廃棄物の削減)の高水準を維持する	加工部門; 高橋	2016 年度 実績 (99.9%)	基準年 (99.9%)高 水準維持	①リサイクル処理ルート の開拓 ②資源物、廃棄物の分 別徹底
②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減	全社; 大塚取締役	2018 年度実績 (18.623 kg-CO ₂ /t)	基準年度以下 18.623 kg-CO ₂ /t	①処理効率及び作業技 術の向上 ②同時運転の回避 ③エアコンの適正使用
③運搬車両燃費向上	収集運搬部 門;上代部 長	2017 年度実績 (1.478 km/L)	基準年度以上 (1.478km/L)	①エコドライブ教育 ②配車効率化 ③ヒアブ作業効率化
④水使用量の削減	全社 ; 大塚取締役	2018 年度実績 (1,361 m ³)	基準年度以下 1,631 m ³	①冷却水の適正使用 ②雨水タンクの活用
⑤(管理項目)サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	全社; 大塚取締役	—	サイト点検表 によるチェック	①サイト点検表によるチ ェック ②油水分離槽の清掃 ③不要物の撤去
⑥(管理項目)グリーンの推進に取り組む	全社; 大塚取締役	—	グリーン購入 推進	①再生紙の利用

(化学物質の取扱いは無いため、目標設定していない。)

注・・・平成 27 年度東京エナジーパートナー二酸化炭素調整後排出係数0.491kg-CO₂/kWh

16. 環境コミュニケーション

地元小学校からの見学会の受入対応を毎年実施しています。その際、エコアクション21活動も説明し、環境教育を実施して地域貢献を推進しています。

(1) 小学生の見学会



(2) 工場周辺の清掃活動



(3) 地元旭市飯岡しおさいマラソンへの参加

(スズキメタル株式会社として後援を継続しています)

地元旭市体育協会が主催し、旭市の地元食材を使った「おもてなし」として休憩地点で旭産イチゴ無料配布や郷土芸能披露入賞者に表彰や入賞商品を受け渡ししています。

(4) 地元あさひ砂の彫刻美術展の後援を実施しています。

九十九里浜にある矢指ヶ浦海水浴場に設けられた特設会場に、大小さまざまな砂の彫刻が出現します。



17. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2019年8月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反及び訴訟等はありません。又、違反・提訴等も過去3年間ありません。当社では法令順守を徹底するために、従業員教育に力を入れています。

18. 代表者による見直し（2019年8月31日実施）

報告事項(環境管理責任者)	
環境方針	変更の必要性なし。
環境目標・活動計画	環境目標はリサイクル率の向上及び車両の燃費向上については達成となった。分別作業やエコドライブ等の従業員ひとりひとりの努力が成果として現れた。鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減目標や水使用量削減目標は未達成となったが、受入量の減少や夏場気温上昇による冷却水使用増加などの外的な要因が大きい。よって、この2項目については2018年度基準の目標値に改定し、目標達成に取り組む。
環境マネジメントシステム	計画的に運用及び運用確認が実施され、変更の必要性なし。
外部からの苦情や要望	過去3年間関係当局からの違反、近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟等もない。
前回の代表者による見直しの指示事項への取組結果	3カ年計画の変更。
指示事項(社長)	
環境目標	3か年計画の変更
環境マネジメントシステム	良好のため、変更無し。
その他	良好のため、変更無し。

別表 スズキメタル株式会社産業廃棄物業、許可リスト(2019年8月31日現在)

		許可番号	新規許可 年月日	許可の 有効年月	産廃の種類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)													
					廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	金 属 く ず	器 く ず	ガ ラ ス 陶 磁	紙 く ず	織 維 く ず	木 く ず	が れ き 類	廃 油	廃 酸	廃 ア ル カ リ	汚 泥	渣	動 植 物 性 残
処分 (切断) (圧縮)	千葉県	第 1220048363	H9.7.22	R4.7.21	○	○	○ 注1											
収集 運搬	千葉県	第 1200048363	H9.10.8	R4.10.7	○ 注2	○ 注3	○ 注2	○	○	○	○ 注4	○	○	○	○	○	○	注5
	茨城県	第 0801048363	H11.4.15	H31.4.14	○	○	○	○	○	○	○							
	埼玉県	第 1107048363	H11.5.20	R6.5.19	○ 注4	○ 注6	○ 注4											注7
	東京都	第 13-00-048363	H11.5.28	R6.5.27	○	○	○											
	神奈川県	第 01400048363	H26.8.13	R6.8.12	○ 注4	○	○ 注4	○	○	○	○ 注4	○				○		

注1・・・使用済み自動車、解体自動車、石綿含有廃棄物であるものを除く。注2・・・石綿含有廃棄物を含み、自動車等破砕物は除く。注3・・・自動車等破砕物を除く。注4・・・石綿含有産業廃棄物を含む。注5・・・千葉県の「石綿含有廃棄物を含む」の記載のない種類については、石綿含有産業廃棄物を収集・運搬出来ない。注6・・・石綿含有廃棄物を含まない。がれき類を除く。注7・・・自動車廃棄物等は安定型廃棄物としての処理は行わないこと。